

新潟大学

▼熊本地震に係る支援活動の概要

1. 学生支援の取組

- 安否確認システム等により被災地の関係学生（出身者、家族在住等）に状況を照会し、本人及び家族等全員の無事を確認した。
- 日本学生支援機構が緊急対策として打ち出した「緊急採用奨学金等について（H28.4.15付）」を全学生に周知した。
- 本学独自の経済支援制度「学資負担者死亡又は風水害等の災害を受けた場合の授業料免除等の出願について」を全学生に周知した。

2. 医療支援の状況

- 4/14 21:44 全都道府県DMATへの待機要請に基づき新潟大学病院DMAT待機
(4/14 23:44 九州・沖縄ブロックを除き待機要請解除)
- 4/16 3:14 全都道府県DMATへの待機要請に基づき新潟大学病院DMAT待機
(4/18 19:02 九州・沖縄・中国・四国ブロックを除き待機要請解除)
- 厚生労働省DMAT事務局からの支援要請に基づき、統括DMAT隊員（事務局要員）を派遣した。
活動場所：東京都立川市
派遣期間：4月17日（日）～4月20日（水）
派遣人員：2名（医師1名 業務調整員1名）
- 熊本県からの要請に基づき新潟県が派遣を決定した医療救護班を派遣した。

第1班：派遣期間：4月21日（木）～4月26日（火） 構成員7名（医師2名 看護師2名 薬剤師1名 救命救急士1名 事務職員1名）
--

第2班：派遣期間：4月25日（月）～4月30日（土） 構成員6名（医師2名 看護師2名 薬剤師1名 事務職員1名）
--

3. 被災地大学支援の状況

- 国立大学協会からのメール連絡により、熊本大学に対し、九州大学を窓口支援物資の取りまとめを行うとのことから、本学から提供できる支援物資のリストを用意し、九州大学に情報提供した。
- 九州大学を介した要請により、熊本大学災害復旧に向けた事務支援者を熊本に派遣した。
派遣期間：7月19日（火）～7月22日（金）
派遣人員：1名（施設管理部施設管理課副課長）

4. 被災地調査の状況

- 災害・復興科学研究所教授及び危機管理室教授の教員2名が、4/16～4/17の日程で学術調査を実施した後、新潟県からの要請により現地に滞在し、災害支援活動を実施した。
- 災害・復興科学研究所が、上記の学術調査を基に4/25新潟県庁において、災害調査報告会を実施した。
- 医歯学系講師が、4/19から被災地入りし、エコノミークラス症候群に関する調査を実施した。
- 災害・復興科学研究所准教授が、4/27～4/29の日程で地盤災害に関する現地調査を実施した。
- 医歯学系准教授及び学生1名が、5/11～5/13の日程で医療支援に関する現地調査を実施した。
- 自然科学系准教授及び学生3名が、5/22～5/25の日程で日本建築学会からの依頼に基づき、学校・社会教育施設等の被害調査を実施した。

5. 災害義援金の募集

寄附先	金額	団体
日本赤十字社	3,082,000円	学内教職員
日本赤十字社	24,100円	学内に募金箱を設置（5カ所）

6. その他

- 4月20日付けで、学長名による「お見舞い」を本学ホームページに掲載した。